※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　公共」（第一学習社）						
副教材等	「公共ノート」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公共は人間や社会の在り方について学ぶだけではありません。皆さんが社会で活躍するころには今以上に日本は厳しい挑戦の時代を迎えていると思われます。その社会に生きる皆さんたちが諸課題を追究、解決する活動を通して、グローバル化する国際社会において主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着けることが目的です。求められる学習はまず、公共という科目に興味を持つこと、日々の授業を大切にすること、単に「覚える」だけでなく、様々な課題について「考える」姿勢が大切です。興味を持ち、考えることで、皆さんの人間力が高まることを期待します。

２　学習の到達目標

（１）現代社会における様々な社会制度の仕組みや諸課題を理解する。
（２）現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、表現することができる。
（３）グローバル化する国際社会において、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として主体的に行動をすることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１編第１章公共的な空間をつくる私たち	Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主･自立 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現	a:青年期が人生の中でどのような意味を持つか理解できる。 人間が個人として尊重される存在であることを理解できる。 自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b:公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えることができる。 c:公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	a:伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重できる存在であることを理解できる。 b:伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第2章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方	Ⅰ　人間についてのあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える ～環境保護 3 実社会の事例から考える ～生命倫理	a:選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b:環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、自らも他者も納得できる解決方法を見出すことに向け、選択・判断の手掛かりとしての２つの考え方を活用し、主張を明確に表現することができる。 c:現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		Ⅱ　選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	a:人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に着けている。 b:倫理的価値の判断において、自らも他者も共に納得できる解決方法に向け、思考実験などを通して、多角的・多面的に考察、表現している。 C:先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第3章　公共的な空間における基本原理	Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務	a:人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 b:公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自立した主体になることに向けて主体的に考え取り組んでいる。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	a:個人と国家・社会との関係から、世界のおもな政治体制について、自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているか理解している。 日本国憲法の基本的な原理を理解している。 c:公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原理を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査		提出課題 振り返りシート
	第2編　第1章法的な主体となる私たち	主題1　法や規範の意義と役割 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために	a:法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の課題を理解している。 法の種類を理解するとともに、法は国民の行為を規制し社会の秩序を維持するだけでなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争解決など、日常生活に関係することを理解する。 b:身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるか考察、表現できる。 c:法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		主題2　契約と消費者の権利･責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	a:契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:家庭科な他教科で学んだ知識も踏まえ、具体的な主題を設定し、その解決に向けて多角的・多面的に考察し、表現している。 c:契約と消費者の権利・責任について、具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		主題3　司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	a:国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 b:検察審査会や国民の司法参加の意義など、具体的な主題を設定し、その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現できる。 c:司法参加の意義について、諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
	第2章政治的な主体となる私たち	主題4　政治参加と公正な世論の形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	a:政治参加と公正な世論形成、選挙の意義などを理解している。 国会の地位と権限、議院内閣制の仕組み、内閣の権限、行政の民主化について、理解している。 b:選挙の仕組み、政党の役割、世論の形成について、様々な情報手段を活用して、考察・表現している。 地方自治の仕組みを理解しつつ、地方自治の課題を考察、表現できる。 c:模擬選挙や模擬請願などの学習を通して、現代の諸課題を主体的に考え、考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期		主題5　国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	a:主権国家が並び立つ国際社会がどのように成り立っているか理解するとともに、国際社会と国家主権に関わる現実の事柄や課題を理解する。 b:国際法の意義と役割、国境や領土をめぐる諸課題、国際連合などの国際機関の役割や課題について、必要な情報を収集し、考察・表現することができる。 c:国際社会や国家主権に関わる様々な問題について、主体的に考え、解決する道を考え出そうとする。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		主題6　日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と世界平和	a:日本国憲法の平和主義について理解を深めることができる。 b:核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、様々な観点から考察することができる。 c:日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法のもと、現代の諸課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		主題7　国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人権･民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a:人種・民族問題と紛争地域の実態、難民問題などの国際社会に起きている諸問題や国際社会の変化、国際社会の中での日本の役割について理解している。 b:持続可能な開発に触れながら、国際社会の安定について、国民レベル、国家レベル、国際レベルで何ができるかを、様々な観点から考察し、論拠をもって表現できる。 c:国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第３章経済的な主体となる私たち	主題8　雇用と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題	a:少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立つために必要なことを理解する。 b:雇用と労働問題について、日本的雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 c:雇用と労働問題について、現代の諸課題を議論しつつ主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 議論の態度 振り返りシート
		主題9　社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	a:社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の産業や職業に関する諸課題を理解している。 b:技術革新の進展、産業構造の変化、企業の活動、農林水産業の現状などを様々な情報をもとに考察し、論拠をもって表現できる。 c:社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		主題 10　市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	a:経済の基本的仕組み、市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:価格の変化が企業や消費者に及ぼす影響や、外部不経済の代表である公害について理解し、それぞれの問題を解決するための方策を構想し、表現できる。 c:市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
３学期		主題 11　金融のはたらき 1 金融の意義や役割	a:資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割など金融に関わる基礎的な事柄について理解している。 c:金融のはたらきの知識をもとに、金融商品との関わり方など現実的な問題を考えようと努めている。	確認テスト 定期考査		提出課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		主題 12　財政の役割と社会保障	a:少子高齢化が進む中、財政の役割と社会保障にかかわる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:財政政策の意義や社会保障制度の意義の理解を踏まえて、それぞれの課題について多面的・多角的に考察・表現できる。 c:財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を解決するための方策を具体的に考えている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート
		主題13　経済のグローバル化 1国際分業と国際貿易体制 2国際収支と為替相場 3経済のグローバル化と日本 4地域的経済統合の動き 5国際社会における貧困や格差 6地球環境問題 7資源･エネルギー問題 8国際社会のこれから	a:経済のグローバル化に伴う諸問題、貿易や為替相場、地域的経済統合など国際経済の諸問題について基礎的な理解ができている。 b:地球環境問題など国際的な問題になっている事柄について、資料を収集し、多角的・多面的に考察することができる。 c:国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。	確認テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度